

平成27年度手話パフォーマンス甲子園実行委員会 議事録 (平成28年2月15日開催)

| | | |
|-------|---|--|
| 開会 | 障がい福祉課 岡村補佐 | ただいまから平成27年度の手話パフォーマンス甲子園実行委員会を開催させていただきます。本日は大変お忙しいところまた予想以上の悪天候の中、ご苦勞頂きまして、お集まり頂きまして本当にありがとうございます。私は、本日の会議の進行を務めさせていただきます、鳥取県障がい福祉課の岡村と申します、どうぞ宜しくお願い致します。 ではまず、開会にあたりまして、実行委員会の会長でもあります、鳥取県の平井知事が皆様にご挨拶申し上げます。 |
| 知事挨拶 | 平井知事 | 皆様こんにちは。本日は雪の中、こうやってお越しを頂きまして本当にありがとうございます。昨年9月22日の手話パフォーマンス甲子園は皆様のおかげで成功裏に終える事ができました。感謝を申し上げます。本日は、日本財団から尾形理事長様、あるいは佐藤様はじめ多くの方々にお越し頂き、また全日本ろうあ連盟から久松事務局長にお越しを頂きました。荻原委員さらには福田委員、是非皆様一緒になりまして、実り多い話し合いが出来ることを願っております。昨年9月の第2回大会におきましては、佳子内親王殿下が手話で挨拶をされた事が全国的に報道され、若い方々の手話に対する理解が飛躍的に進んだ事となりました。また、参加各校のレベルも上がり大会も年々充実してきている所でありまして喜びに堪えません。本日は、今年秋に開催を予定しております、第3回大会の計画につきまして、お話し合いを頂きたいと思っております。これまで、尾形理事長はじめ、日本財団の皆様には、手話パフォーマンス甲子園、手話の普及に大変なお力添えを頂いておりますこと感謝申し上げます。宜しくお願い申し上げます。 |
| 出席者紹介 | 岡村補佐 | では次に、御出席の委員の皆様をご紹介させていただきます。全日本ろうあ連盟久松事務局長様です。日本財団尾形理事長様。久松事務局長様と尾形理事長様には、遠いところからお越し頂きまして本当にありがとうございます。続きまして、鳥取県聴覚障害者協会荻原理事長様。 |
| | 荻原委員 | 宜しくお願い致します。 |
| | 岡村補佐 | 全国手話通訳問題研究会鳥取支部の福田支部長様です。 |
| | 福田委員 | 宜しくお願い致します。 |
| | 岡村補佐 | 鳥取県教育委員会山本教育長です。 |
| | 山本委員 | 宜しくお願い致します。 |
| | 岡村補佐 | 鳥取県福祉保健部の松田部長です。 |
| | 松田部長 | 宜しくお願い致します。 |
| 岡村補佐 | なお、鳥取県商工会議所連合会の藤縄会長様は、別の用務の関係で本日は御欠席となっております。ご了承下さいますようお願い致します。 | |

| | | |
|------------------|-------------|--|
| <p>お願い事項</p> | | <p>ここで発言される際のお願いを、ちょっとさせていただきたいと思えます。この後、ご発言頂く際には、まず手を挙げて頂きましてその後お名前を述べて頂いた後にゆっくりとお話頂きますように宜しくお願いを致します。</p> |
| <p>進行交代</p> | | <p>それではこれより議事に入らせて頂きます。 これから後の進行は、「手話パフォーマンス甲子園実行委員会設置運営要綱」第10条第1項の規定によりまして、議長である平井知事をお願いしたいと思います。それでは平井知事議事の進行をお願い致します。</p> |
| <p>議事進行</p> | <p>平井知事</p> | <p>さっそく、議事に入らせて頂きたいと思えます。 まず第2回の甲子園の開催結果並びに、実行委員会の平成27年度予算平成26年度の決算につきまして事務局から報告を致します。</p> |
| <p>報告 議案</p> | <p>鈴木室長</p> | <p>鳥取県庁障がい福祉課の鈴木と申します。この度お足元の悪い中お集まり頂きありがとうございます。私からは座って説明させて頂きます事ご容赦下さいますようお願い致します。 資料の1番をご覧頂けますでしょうか。 第2回の大会の結果を記載させて頂いております。昨年9月22日米子市において開催この大会でございますが、予選に47チームの応募がございまして、予選を勝ち抜いた20チームによるパフォーマンスが繰り広げられました。来場された方は会場に収まりきらなかった方も含めて1,550名と言うことで非常に多くの方においで頂きました。 優勝致しましたのは、奈良県立ろう学校でございました。「イマジン」という曲をテーマにろうの世界を身体表現で伝えました。ろうの方の苦しみそして、手話と出会ってからの希望それを非常に豊かな表現で表してくれました。準優勝、第3位については、資料の通りでございます。 全日本ろうあ連盟様と日本財団様にはそれぞれ特別賞をご提供頂いております。全日本ろうあ連盟賞には優勝した奈良県立ろう学校、日本財団賞には同じく、奈良県立ろう学校と、鳥取県内の最高位でありました、鳥取聾学校この2校に頂戴したところでございます。この場を借りてお礼申し上げたいと思えます。ありがとうございます。 裏面に移っていただけますでしょうか。この大会には先ほど知事からも、挨拶の中にございました。佳子内親王殿下にご臨席頂きました。内親王殿下からは、手話は言葉であると言うことを、すべて手話によるご挨拶で御表現頂きました。この様子は、非常に多くのメディアで取り上げられたところでございまして、手話の振興に非常に大きく寄与したものと考えております。4番目のその他でございまして、当日</p> |

| | | |
|--|------|---|
| | | <p>は入場自由としておりましたが、会場が程なく満席となりまして、入場できない方々のために、サテライト会場等設置致しました。中には、会場には入れずに、お帰り頂いた方もおられるようでございますが、その対策については、また後ほど、第3回大会の中で、ご説明させて頂きたいと思っております。また、JR 米子駅にですね、音声文字変換システムですとか、手話の遠隔サービスのタブレットの設置をさせて頂きまして、おいで頂く方々の情報コミュニケーションの確保を図ったところでございます。</p> <p>次に、資料2でございます。平成27年度の収支予算。そして、資料3でございますが収支決算を用意しております。</p> <p>この内容につきましては、昨年6月に予算をとり、専決させて頂いております。日本財団様から、多大なるご支援を頂戴して開催させて頂いております。総額3600万余ということの予算で今回の大会の運営をさせて頂いております。</p> <p>その決算書が、3ページにつけております。</p> <p>決算と致しましても、ごめんなさい、平成26年度の決算書でございますので、これは、ご参考にご覧頂ければと思っております。後、4ページ以降に平成26年度の事業報告書、5ページに第1回の甲子園の開催結果等も併せて掲載させて頂いております。こちらの方はご参考にご覧頂ければと思っております。宜しくお願い致します。報告事項は以上でございます。</p> |
| | 平井知事 | <p>以上の報告につきまして、ご質問やご意見がございましたらお願いします。</p> <p>それでは、無いようでしたら、次の議事に入りたいと思っております。</p> <p>本日、議題三つでございます。</p> <p>1つめは、第3回の甲子園の基本計画。</p> <p>議案第2これは甲子園の開催要項。さらに平成27年度今年度の実行予算、実行委員会の補正予算についてであります。これら、三つの議案につきまして、一括してご説明を致させ、皆様の御質疑を賜りたいと思っております。</p> |
| | 鈴木室長 | <p>それでは、資料の3番をお願い出来ますでしょうか。</p> <p>資料の3番に第3回の基本計画を、お手元にお配りしております。第3回の大会でございますが、事務局と致しましては、9月25日に開催をしたいと、考えております。</p> <p>時間と致しましては、今後各方面との調整で変更する可能性もございますが、午前9時30分から午後4時30分まで、この頃を想定しております。主催、共催等についてもこれまでと同様実行委員会で行いたいと思っておりますし、鳥取県聴覚障害者協会様と一緒に作り上げていき</p> |

たいと考えております。また、第1回、第2回大会に引き続きまして、日本財団様にご協力を、特別協賛をお願いしたいと考えておりますし、全日本ろうあ連盟様には、さまざまな面でのサポートご助言を賜りたいと、いう風に考えております。

11番スケジュールの所をご覧頂けますでしょうか。

本日の会議でご承認を頂けましたら、開催告知が今日からスタートと言うことにさせて頂きたいと思っております。申込期間でございますが、昨年同様、5月9日からでございます。で、ここが一点、変更は、昨年と変えた点何ですけれども、一旦、申し込み自体を6月30日にお申し込み頂いて、予選審査用のビデオを7月25日に頂くと言うことにしたいと、考えております。

昨年は、実は、7月10日にですね、いずれの申し込みも、ビデオの提出も7月10日に締め切らせて頂いたのですが、学校等によってはですね、ちょうど、中間 夏休み前の試験にあたる、学校もあると言うことで、申し込みは早めにお受けして、予選ビデオについては、テストの影響をあまり受けない、7月の終わり頃に頂こうかという風に考えております。その関係で、審査を1週間程度、後ろにずらしまして、8月9日に鳥取市内で開催したいと考えております。

会場でございますけれども、(4)番の場所という所に記載させて頂いております。鳥取県のちょうど真ん中にごございます、倉吉市こちらで開催をしたいと考えておまして、倉吉未来中心大ホール 1,500人入るホールでございまして、鳥取県内でも2番目の大きさのホールで開催をしたいと考えております。今年度、会場の中に、お入り頂けなかった方も、ございますので、大きな会場を準備させて頂きたいとは、思っております。

一番下の(5)番でございますが、表彰でございます。

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、これに加えて、また、今年度も、全日本ろうあ連盟様、日本財団様より特別賞の方、ご提供頂ければ有難いという風に考えております。

裏面、2ページでございます。資料3の2ページでございます。例年に習いまして、大会前日、9月24日に交流会を開催したいと、考えております。こちらについては、今場所を選定中でございますので、またこの実行委員会の企画推進会議等その場を借りて、決定して参りたいと考えております。実行委員会皆様にも後日、ご報告を差し上げたいと考えております。

13番その他でございますが手話パフォーマンス甲子園の自動販売機を、今年1月14日に鳥取県聴覚障害者協会が入っておられます、鳥取市文化センターに初めて設置させて頂きました。第3回大会に向け

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>て、他の場所でも設置して頂けるように働きかけを行いたいと考えております。</p> <p>また、(2) 番にございますが、より多くの学校に参加頂けるように働きかけを行いたいと思います。皆様方からの PR も併せてお願い申し上げます。</p> <p>観覧者の関係でございます。先ほどもご説明致しましたように、会場を大きくして、多くの方に入場して頂けるような体制を取っておりますけれども、仮に、それでも会場に入れない方がでられた場合、今回の未来中心の会場の中に大きなアトリウムのスペースございますので、そういった場所を活用して、多くの方にご覧頂けるようなサテライト会場を設けたいという風に考えております。</p> <p>(4) 協賛でございますが、第2回大会では、初めて民間の企業様等から、協賛金の方ちようだい致しました。</p> <p>100万円余と言うことでございます。第3回大会に向けてさらに多くの、御協力を賜れるよう、事務局としても働きかけたいという風に考えているところでございます。</p> <p>続きまして、資料4の方、ご覧頂けますでしょうか。</p> <p>こちらには、開催要項を記載しております。開催要項の1番から7番までは、基本計画とほぼ同様の内容でございますので、説明を省略したいと思っております。</p> <p>8番参加資格でございますが、引き続き平成28年度に高等学校、又は特別支援学校高等部に在籍している生徒さんにご参加頂きたいと考えております。</p> <p>9番のチーム編成についても、これまでと変更無く、最大生徒様、20名以内と言うことで募集をしたいと思っております。</p> <p>裏面の2ページをご覧頂けますでしょうか。</p> <p>演技内容でございます。こちらも、今年度同様に、手話を使った歌、ダンス、演劇、コント、漫才ということでございますが、昨年初めて、落語を披露した学校ございましたので落語もこの中に加えさせて頂きました。演技時間、今年と同様8分以内という風にしたいと思っております。また、これまでの大会の改善点と致しまして、演技の中で歌詞や台詞等は字幕を必ず表示するように徹底をしたいと考えております。</p> <p>11番、審査方法でございますが、主催者が委嘱しました審査員に採点を行って頂きたいと考えております。</p> <p>12番応募方法につきましては先ほど、応募期間について説明をさせて頂きましたが今年度は動画の提出期限と参加申し込みを分けて行いたいと考えております。</p> |
|--|--|---|

| | | |
|--|--|--|
| | | <p>14番参加料は不要としたいと考えております。これもこれまで通りでございます。</p> <p>15番助成金でございますがこれも、従前通り交通費、宿泊費を上限を設けてご支援したいという風に考えております。</p> <p>16番表彰でございますけども先ほども申し上げましたが、併せまして⑤番、⑥番全日本ろうあ連盟様と、日本財団様には引き続きのご協力をお願い出来ればと考えておりますので宜しくお願い致します。次3ページでございますが、17番予選審査会でございます。8月9日に開催したいと考えております。</p> <p>18番交流会、これも9月24日に開催したいと考えております。</p> <p>19番スケジュールでございますが、3月の上旬にはこの開催要項をですね公表致しまして、参加申し込み受付等や助成審査会を経てですね、9月24日大会前日にリハーサルを行い6時から交流会を行い9月25日の本大会を迎えたいという風に考えておるところでございます。</p> <p>20番はその他でございますが、昨年と同様でございます。</p> <p>その裏面4ページには、個人情報等の取扱い、これも昨年同様記載させて頂いております</p> <p>引き続きまして、資料の5番でございます。27年度第2回大会の分の補正予算についてご説明したいと思います。収入の部でございますが、現計予算額が3600万ということでございましたが、補正予算として、97万8千円をお願いしたいと考えております。これはあの、県の方の負担金でございますが、第3回大会の広報をですね、やはり今年度の早いうちから始めたいと言う風に思っております、その経費ですね県の方で負担金と言う形で、出させて頂きまして、この経費について補正のお願いをするものでございます。後、協賛金等については実績予算を100万円組んでおりましたが、実績が若干多かったのでございますのでその金額を補正すると共に、雑入につきましても実績に応じて補正をしたいという風に考えております。</p> <p>(2)番支出の部でございますけどもご覧頂きましたらわかりますが広報宣伝費、大会準備費等が、200万100万とマイナスになっておりまして、大会運営費の方を480万増額しております。これは特に何か予定していた経費が減ったという事ではなくてですね、広報宣伝費に計上していた広報関係の事務につきまして、大会の受託業者等に委託した関係で、大会運営費の方が大会運営費の方に経費が多く行く事になっております。その関係で、プラスマイナス97万8千円の補正予算を収入、支出共に、お願いしたいということでございます。補正予算等については以上でございます。私からは以上でございます。</p> |
|--|--|--|

| | | |
|--|------|---|
| | 平井知事 | 以上今日の、議題につきまして説明がございました。皆様から、ご質問ご意見何でも結構でございます。お寄せ頂きたいと思ひます。どうぞ、何か何か。 |
| | 久松委員 | ご説明ありがとうございます。1点、お願いがあります。今回の基本計画開催要項の中に日本障害フォーラムという組織を入れていただきたいと思ひます。日本障害フォーラムは、会長は日本身体障害者連合会の会長さんでいらっしゃるし、副会長が日本盲人会連合の会長さんでいらっしゃいます。日本障害者協議会（JD）という組織もごひます。全国的に福祉相談など、いろいろな障害者、当事者に関する組織にもかかわって、とりまとめておられるところなんです。そういう団体ですので、是非、後援団体として、お含め頂きたいと思ひておひます。もう一つ、最近、若者の中に、手話ポエムをする方がちょこちょこ出てきておられます。手話で詩を語るというもので、手話ポエムというジャンルも演技内容に加えて頂きたいと思ひます。以上です |
| | 平井知事 | ありがとうございます。あの、今お話がございました、まず後援の事でございますが、資料4でいきますと、7番目のところ後援予定とあります。まあ、ここに日本障害フォーラムを加えることで、関係機関と調整して、修正させて頂きたいと思ひます。また、資料4でいきますと、10番の演技内容（1）につきまして、まあ演劇の後くらいにこう手話ポエムという言葉を入れさせて頂きたいと思ひます。その他何かありますか。福田支部長どうぞ。 |
| | 福田委員 | 先ほどの手話ポエムを入れて欲しいということだったんですけども、逆にこれはパフォーマンス甲子園の演技内容としてふさわしくないというものがあひますか。おそらく、（手話スピーチコンテストがあるのひ）弁論の部は無いと思ひますが、そのほかに想定外のものがあれば、文言に書かなくても、ここで確認をしておいたらいひと思ひます。 |
| | 平井知事 | 福田支部長からご意見があひましたが、それについては、事務局から考え方を説明して貰いたいと思ひます。 |
| | 鈴木室長 | 福田委員の方からご意見ありました通り、弁論につきましては、従前から手話のひですね、手話のスピーチコンテストがござひますので、そこは重複する部分になりますのでそういった所は避けたいと思ひておひます。後、あのパフォーマンスの内容等につきましては、それは応募して頂いた審査、予選審査の段階ですねそこで、ふさわしくない物については、そこで判断して貰いたいと思ひておひます。基本的にいきますと、パフォーマンスであれば、幅広く応募頂ければなあと、考えておひますところでございます。 |
| | 平井知事 | この説明に対しまして、ご意見ござひますでしょうか。尾形理事長、どうぞ。 |

| | |
|-------|--|
| 尾形理事長 | 後援のところに各メディアの会社名（山陰ローカル）が並んでおりますが、もう少しテレビ局に働きかけてみてはいかがでしょうか。そして全国ネットのテレビ局に放映して貰う、もしくは、特別番組を作って頂いたら一番いいのでしょうか、せめてニュース番組で広く取り上げて頂きたいなと思います。全国ネットの系列局の後援を受けていますが、全国ネットのテレビ局でも取り扱ってもらえたらと思いました。 |
| 平井知事 | その点につきまして事務局から、説明をお願いします。 |
| 鈴木室長 | 尾形理事長様からご提案頂いた件について、是非とも取り組んで参りたいと考えております。今掲載させて頂いております、放送局につきましては鳥取県内に支局がある放送局を掲載させて頂いております、例えば、テレビ東京さんですとか鳥取に支局のないところは今現在掲載させて頂いておりません。ただ、この手話パフォーマンス甲子園は全国発信していく観点で、NHKさん民放さんはじめですね東京の方の各局にも働きかけは、実は行っておりますですね、そういったことを今後も続けて参りたいと思っておりますし、こちらに掲載されていないテレビ局さんに対しても、お願いはして参りたいという風に考えますので今後とも宜しくをお願いします。 |
| 平井知事 | 久松委員をお願いします。 |
| 久松委員 | 尾形理事長様の方からとてもいいご意見を頂きました。それについても補足でお話をちょっとさせて頂きたいと思えます。民間放送連盟、略して民放連という組織がございまして、昨年我々が主催し、日本財団さんの方にもご協力頂いて開催した情報アクセシビリティ・フォーラムでは、民放連の方に後援を頂きました。民放連の方に働きかけた方が、もしかしたらそちらの方の承諾を得られるかもしれない。そうすると、さまざまなマスメディアにも働きかけがしやすくなるのではないかなと思いますので、民放連さんの方に便宜といえますか、後援を頼んでみたらいかがでしょうか。 |
| 平井知事 | はい、ありがとうございます。今、貴重なご意見尾形理事長、久松事務局長から頂きましたので、是非、それを実現できるように働きかけをして参りたいと思えます。その他、ありますか。 |
| 荻原委員 | 一つすみません。秋篠宮妃殿下、佳子様内親王殿下が来られた時に、直前になってから皆さんに公表をされたのですが、もちろんそれはいろいろと必要があったと思えます。ですが、やはり、佳子様を見たいということでお越しになった方沢山いらっしゃると思えます。ご臨席をご存じなくしてお昼に帰られたという方もあったかも知れません。ですから、第1回大会の時は整理券形式をされたと思えます。同じような事前案内の方法で内容のことも含めて、周知をされたらいかがかなと思えました。 |
| 平井知事 | この点につきましては、事務局からもう一度をお願いします。 |

| | |
|------|---|
| 鈴木室長 | <p>あの、整理券方式をと言うことをございまして、そちらについてもまた、検討したいと思っております。実はあの、今回の第2回大会でも満席の場合はご入場できない場合がございますという、アナウンスをあらかじめさせて頂いておりましたが予想を上回る人気で、たくさんの方においで頂きました。であの整理券方式も検討したいとは思いますが、整理券方式のデメリットもあろうかとも思います。申し込みはされたけれども、例えば当日来られなかったりとかですね、この場合はその席はいつ来られるかわかりませんので空けておかないということもございます。そのあたりのメリット、デメリットを整理致しまして、一度ご相談をさせて頂ければという風に考えております。いずれに致しましても、より多くの方に、ご覧頂けるような工夫を考えたいと思います。</p> |
| 平井知事 | <p>今、荻原理事長からお話をございました件につきましては、整理券の事も含めてですね、見えやすい環境作りをしたいと思えます。まあ、アトリウムというところで、同時に中継する事で、今回かなりのお客様にも、満足いただけるのじゃないかと思えますし、工夫をしたいと思えます。また、事前のその宮家の御主席の告知につきましては、ご意見を受け止めさせて頂きます。ただあの、警備の問題であるとか、それから、いろいろな約束事といいますかですね、そういうこともございまして、まあ今日のご意見はまた、関係先にもお伝えさせて頂きたいと思えます。その他、ございますでしょうか。無いようでしたらこの原案の通り、本日決定をさせて頂き、高校の方にも周知させて頂いて宜しいでしょうか。ありがとうございます。ご承認頂きました。それでは、今ご承認頂きました、事を前提にしまして、資料の残された所につきまして、事務局から、ご説明申し上げます。</p> |
| 鈴木室長 | <p>資料6をご覧頂けますでしょうか。資料6でございますけれども、先ほど申し上げました、今後のスケジュール案についてですね、それを詳しく掲載させて頂いております。今日の会合終わりましたら、早速に報道機関等にPRすると共に、ホームページでの周知を行って参りたいと思っております。また、チラシの印刷等も行いまして、全国のすべての高等学校、特別支援学校また、都道府県。またあの、久松事務局長様のサポートも得ながら、全国の加盟団体、ろうあ関係団体にもご案内していきたいという風に思っております。参加申し込みの受付は5月9日に開始し、6月の末に参加申込期限という風にしたいと思っております。予選審査を8月9日、大会交流会リハーサルを9月24日、大会を25日という風に考えております。大会開催まで細かい件について検討致します企画推進会議を3度ほど設けたいと考えておりますので、またその内容等に、決まった内容等についてはご報告を</p> |

| | | |
|--|------|--|
| | | <p>差し上げたいという風に考えております。</p> <p>またあの、お手元にお配りしております実績報告書、色刷りの物も皆様のお手元にお配りしております。こちらを見て頂きながら大会を思い起こして頂ければなという風に思います。またあの、来年度の会場としてご承認頂きました鳥取県立倉吉未来中心のパンフレットのカラーコピーをお配りしております。比較的新しいホールでございまして、非常にいい雰囲気で開催されるのではないかなという風に考えております。以上ご報告申し上げます。</p> |
| | 平井知事 | <p>以上、説明がございました。これにつきまして、ご意見ご質問等ありましたら、お寄せ頂きたいと思えます。その他、こういった事でも結構ございます何かご意見ございましたら頂ければと思えます。ありませんか。それではこれにて議事の方は閉じさせていただきます。本当にまた9月来年の25日ということになりましたけれども、皆様の絶大なご協力を頂きますようお願い申し上げます、今日の会議を閉会と致します。どうも、ありがとうございました。</p> |